

平成24年度学校業務改善に係る取組状況の報告

南あわじ市立三原中学校

1 学校業務改善にかかる校内委員会について

- (1)名称 学校業務改善委員会
- (2)構成 校長・教頭・主幹教諭・教諭1名・養護教諭・学校副主幹・事務補助
- (3)開催状況 1学期2回、2学期1回、3学期1回(予定)開催した。

2 取組状況

(1) H24取組計画について

- ①学校事務改善事例集の取組事例を参照して、生徒データの全学年の共通化、出席統計ファイル、「トライやる・ウィーク」事務データベースファイル等を活用して、改善を図っていく。さらに連携校と定期的に話し合いをして推進する。
- ②通知簿や指導要録等の学校表簿の電子化を推進する。通知簿は、ほぼできているので、指導要録の電子化を推進する。
- ③昨年度、学校ルールブックの原案を作成した。今年度は、全教職員参加でその内容を検討し、使える学校ルールブックを完成させる。
- ④効果的な校内研修や会議を実現するために、先進校から学び、取り組んでいく。

(2) 現段階の成果と課題

- ①については、活用して改善を図ることができた。しかし、連携校と定期的に話し合いの場を持つことができていない。
- ②指導要録も全学年で電子化をすることができた。
- ③原案を作成したが、全教職員参加でその内容を十分に検討できていない。時間の確保が難しい。大きな課題である。
- ④校内研修は、1回だけ実施することができた。先進校からの学びは十分にできていない。
- ⑤教職員への連絡体制は、昨年度から順調に機能している。非常に便利である。
 - ・全職員アカウントの取得と設定による一斉送信
 - ・こどもあんしんネットへの加入と連絡体制
 - ・ウィンドウズカレンダーの活用
- ⑥年間計画・月間計画と連動した学校日誌の電子化が実現できた。

3 【事務加配校】加配職員の活用状況と成果

活用状況

- ・日常の事務業務の3分の1程度分担している。
- ・図書室の本のデータベース化を推進したり、紙類の分別収集の運営を担っている。その他多くのすき間の仕事を積極的に取り組んでいる。

成果

上記の活用によって、学校業務改善を推進することができ、教職員にゆとりが生まれ、生徒と係る時間が昨年度に比べ増加した。